

花笑えば人笑う

一輪あるだけで私たちの心を明るくし、優しく癒やしてくれる花。フレッシュからプリザーブド、押し花まで、花にはいろいろな楽しみ方があります。今回はさまざまな形で花にかかる女性たちを紹介します。あなたも暮らしの中に花を取り入れて「笑顔」あふれる毎日を過ごしませんか。

押し花とデザインの美しさ
花がつなぐ輪大切に

吉野の野山に出掛け、地元の人親切に教えてもらい、かれんな野の花を見つけています。昨年は、生徒たちといっしょに信州への押し花ツアーを実行しました。

あふれんばかりの花々を積んだ花車。夏の陽光をたっぷり浴びたひまわりたちが、アトリエの飾り額のなかで揺れています。

松村三枝子さん(60)の押し花作品は一幅の絵画を見るかのよう。さざざまな色と形の押し花を、バランスよく配置し美しいデザインに仕上げています。

「技術と工夫は必要ですが、ほとんどの植物は押し花にすることができます」と保管ケースから整理されたたくさんの押し花を取り出す松村さん。「クリスマスローズのよう

に、押すことで存在感を増す花もあります」

花は、朝きれいに咲いたと思ったらすぐに押さないと美しいが半減。雨降りの後はだめ。最近は、山野草を探し

アイスフラワーの制作をする三浦順子さん。温度を使ってアイスフラワーを入れるタイミングを図るのが難しく、二度と同じ作品ができるのが魅力



☆手作り体験&手作りマーケット★ ならリビングフェスタ 2011 in 高田

入場無料

日時=5月24日(火)10~16時/25日(水)10~15時
会場=県産業会館(近鉄大和高田駅から徒歩3分、JR高田駅前)

「花とグリーン」をテーマに開催。その場で手作り体験できるブースやガーデニングショップが勢ぞろいします。ほかにも古布などの手作り材料や、手作り作品を販売するブース、こだわりのフードブースもいっぱい。優しい花に会いに、ぜひご来場ください。

※今回紹介する4人とも、5月24日(火)/25日(水)に県産業会館で開催する「ならリビングフェスタ2011 in 高田」に出演します。



季節を感じられる生花が一番好きという牧野由美子さん。子どもたちにも自然に触れてもらいたいというデザイナーの美しさは定評がある。最近は、山野草に魅了を感じている

に吉野の野山に出掛け、地元の人親切に教えてもらい、かれんな野の花を見つけています。昨年は、生徒たちといっしょに信州への押し花ツアーを実行しました。

「押し花を通してつながり、人と人の輪(和)を大事にしていきたい」という松村さん

ながら、花に癒やされることで、肯にも元気を届けたいというやさしい

気持ちが、作品にも表

れていました。

熱して溶かしたジエ

ルの中へ温度調節をし

ながらアイスフラワー

を入れ、固めてボック

スに閉じ込めて作りま

す。

「一度と同じものが

できないところが面白

い」と三浦さん。花も

一つずつ違えば、温度

もさまざまです。

アイスフラワーと

三浦さんは数年前に

定年退職を迎え、これ

からはもっと好きにな

どに打ち込むそうで

す。アイスフラワーと

三浦さんは数年前に

定年退職を迎え、これ

からはもっと好きにな

どに打ち込む